

## チオール脱保護方法

用意するもの：マイクロピペットと滅菌済みチップ

遠心分離機

使用する試薬：0.1M TEAA (pH6.5~7.5)

1M 硝酸銀水溶液

1M DTT

エタノール

3M 酢酸ナトリウム水溶液 (pH5.2)

- ① 乾燥状態の oligoDNA に 0.1M TEAA (pH6.5~7.5) を加え溶解します。  
(oligoDNA 5 O.D に対して 0.1M TEAA 50  $\mu$ l)  
(以下、試薬量は oligoDNA 5 O.D に対しての値とする)
- ② 1M 硝酸銀水溶液を 7.5  $\mu$ l 加え vortex 等でよく混和し、室温に 30 分間置きます。
- ③ 1M DTT を 10  $\mu$ l 加え vortex 等でよく混和し、室温に 15 分間置きます。
- ④ 15,000rpm で 15 分間遠心します。
- ⑤ 沈殿物を取らないように上清のみを別のチューブへ移します。
- ⑥ 沈殿物の残ったチューブに 0.1M TEAA を 50  $\mu$ l 加え混和し、15,000rpm で 5 分間遠心します。その後、上清のみを「5」のチューブへ移します。
- ⑦ 上清全液量の 3~5 倍量のエタノール、3M 酢酸ナトリウム水溶液 (pH5.2) を全液量の 1/10 加えよく混和し、15,000rpm で 20 分間遠心します。
- ⑧ 沈殿物を残して上清を捨て、70%エタノールを 500  $\mu$ l 加え、vortex 等で混和します。
- ⑨ 15,000rpm で 10 分間遠心します。
- ⑩ 沈殿物を残して上清を捨て、乾燥させます。

「⑩」の沈殿物を乾燥させたものをご使用ください。